



Medical Satellite

Vol.1 (Monthly) Feb, 2003

Yaesu Clinic News

発行所：メディカルサテライト八重洲クリニック



0120-786-055

東京都中央区八重洲1-5-9 八重洲アメレックスビル9F TEL03-3516-8020 FAX03-3516-8022

「サービス向上を努めます」院長挨拶



放射線科医の使命は、高度な専門性に根ざした高品質の画像とレポートとを提供 [院長 茅野文利]

することによる医療への貢献です。当クリニックは静磁場強度1.5テスラのMRIとヘリカルCTを擁し、高度なトレーニングを積んだ技師と放射線科専門医が協力して、それぞれの患者様の検査目的に最も適合した画像を撮影しています。各種の造影剤を使用するCT/MRIやMR血管撮影(MRA)はもちろん、MR胆嚢胆管撮影(MRCP)や造影MRAなどの特殊検査を駆使し、疾患の本質に直接迫る画像をご提供して参ります。

読影レポートでは、大学附属病院や基幹病院の放射線科における長年の修練で培った画像診断の技術を、それぞれの患者様と先生方が必要とするニーズに合わせて最適化した形でわかりやすくお伝えするために、様々な工夫をしております。具体的には、詳細な所見報告に加えて、矢印つき参照画像、治療指針などの情報、患者様に直接お渡しいただける患者様用画像診断報告書など、先生方が、実際の診療の場で利用しやすい形を備えた高い精度の画像診断を行って参ります。

医療は、本来の意味でサービス業であるべしというのが我々の基本理念です。先生方の日々のご診療において、私どもの微力が一助となれば幸いです。

「肝細胞癌、早期発見・治療の例」

当クリニックの検査が、早期発見・早期治療につながった症例の一つをご紹介します。CT検査にて肝細胞癌が発見された症例です。

患者様はC型肝炎由来の肝硬変のため、肝細胞癌の有無等をチェックされる目的で来院され、造影剤を毎秒3mlで静注するdynamic CTを実施いたしました。撮影画像では注入後30秒の動脈相(図1)において、左葉内側区(S4)のSOL(占拠性病変)についてのみ造影剤による高濃度域(矢印)が認められました。また、注入後180秒の平衡相(図2)で左葉内側区、右葉前下区(S5)、右葉後下区(S6)のそれぞれに淡い低濃度域(矢印)が認められました。この結果、左葉内側区のSOLは肝細胞癌の疑いありと診断し、早期発見であったことからIVR(経血管的療法)による治療ではなく、初期のごく小さな肝癌にしか適応できないPEIT(経皮的エタノール注入療法)での治療が施されることとなりました。

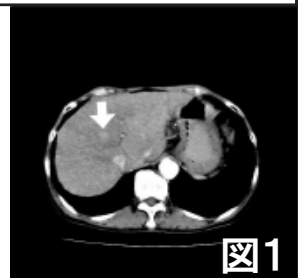


図1



図2

患者様の経過状況をお教えいただき有難うございました。

「講演会を開催したいと考えています」

当クリニックでは、ご提供しているMRI/CTの画像と診断報告書をより深くご理解いただくために定期的に講演会を行おうと考えています。テーマとしては、「MRIの撮影基本原理」「MRI/CTの造影剤の使い分け」「造影剤の副作用と対処法」「癌を疑う画像診断の使い分け」「脳虚血性疾患のMRI/CT」等を検討しております。講師は東大放射線科および外科医局所属医師、医療分野に造詣の深い弁護士等を予定しています。先生方が聞いてみたいテーマがございましたらリクエストをしていただければ幸いです。電子メール ganda@m-satellite.jp あるいはお電話 0120-786-055 でお待ち申し上げます。

当クリニックでは、検査の質を向上させることを最優先課題と考え、日々診療を行っております。先生方がお気付きの改善すべき点、検査を受けられた患者様のその後の様子等、お教えいただければ幸いです。

速やかに対処を行い、先生方に喜ばれる診療所に行きたいと考えております。

<診療時間：月曜～金曜日：午前9時～午後9時 土日祝日：午前10時～午後5時、造影日：月曜～木曜日、土曜日>